

第105回郡山市都市計画審議会 議事録（概要）

1 開催日時

令和3年1月18日（月） 午後3時00分から午後4時45分まで

2 開催場所

郡山市総合福祉センター集会室（5階）

3 出席者

(1) 委員 17名（20名中）

(2) 事務局 11名

4 会議の公開・非公開の別及び傍聴者

公開 傍聴者なし

5 議題

(1) 議事

議案第1号 県中都市計画高度利用地区の変更について

議案第2号 県中都市計画第一種市街地再開発事業の変更について

(2) 協議事項

「郡山市立地適正化計画」に係る防災指針（案）について

(3) その他

第104回都市計画審議会報告事項に関する意見等についてのアンケート結果について

各項目について事務局から説明を行った。

6 議題（要旨）

(1) 議事

議案第1号 県中都市計画高度利用地区の変更について

議案第2号 県中都市計画第一種市街地再開発事業の変更について

【事務局】

平成22年に休止した「郡山駅前一丁目第二地区第一種市街地再開発事業」に係る「県中都市計画高度利用地区の変更」及び「県中都市計画第一種市街地再開発事業の変更」について説明し同意を得た。

<委員からの主な意見・質問及び事務局の回答>

なし

(2) 協議事項

「郡山市立地適正化計画」に係る防災指針（案）について

【事務局】

郡山市立地適正化計画に係る防災指針を令和3年3月末の公表に向けて作成している。現在の居住促進区域には、一部浸水想定区域が重なる区域があるが、国・県と連携し、様々なハード・ソフト対策を実施することにより、現在の居住促進区域を維持していく。

<委員からの主な意見・質問及び事務局の回答>

【委員】

富田町や片平町などの上流で調整池を活用した水災害対策が出来ないか。調整池はあってもあまり機能していない。

【事務局】

市で管理している調整池については、土砂の浚渫や底コンクリートにするなどの機能強化を図っている。

また、民間の調整池については、適正な管理をしていただけるように働きかけていく。

【委員】

今回の防災指針は二度と水害を出さないという計画なのか。

【事務局】

水害をなくすことは現実的に困難である。ある程度のリスクは許容しながら、土地利用を進めて行かざるを得ないと判断している。

【委員】

計画の多くは「検討」となっている。「検討」と記載されているだけだと、具体的にまだ取組んでいないという印象を受ける。

【事務局】

例えば「建物の構造上の工夫、ピロティ化の支援策の検討」については、財政的支援を実施している自治体はまだまだ少なく、今後、全国の自治体の動向や国の動向を注視ながら進めて行くため「検討」という位置付けにしている。

【委員】

連携中枢都市圏の自治体間での対策等の議論はあったか。

【事務局】

防災指針作成に関しては、それぞれの市町村の区域内で作成するものなので議論は行っていないが、流域治水対策については「阿武隈川上流大規模氾濫時の減災対策協議会」において、流域自治体の鏡石町、玉川村、須賀川市との調整・議論を行っている。

(3) その他

第104回都市計画審議会報告事項に関する意見等についてのアンケート結果について

【事務局】

第104回都市計画審議会の後に実施した報告事項に関する委員からの意見等について報告を行った。

<委員からの主な意見・質問及び事務局の回答>

なし